

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20210311

21期 No.17
《部内資料》

コロナ禍による困窮から住民生活を守るために
無料低額診療事業や生活保護制度の活用を求める
要請行動 初回は3月11日豊見城市役所

山川市長対応「区長会でぜひ説明を！」

3月11日(木)14時から豊見城市役所で無低と生保の要請行動を行いました。
要請趣旨と参加者は以下のとおり

要請趣旨(資料集 <https://xfs.jp/sUcpU>)

3波にわたる新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、住民生活を困窮させ、命の危機にもつながっています。

しかし、国の支援策は3月末で期限切れとなるものがあります。感染の収束が見通せない中、2021年度も生活や経済で苦境が続きます。

公共料金の減免、猶予、生活や営業資金の無利息融資、持続給付金などの給付など国の生活支援策の継続延長が必須であると考えます。

また同時に、経済的な理由で医療を受けられないことがないように、「無料低額診療事業」の活用が有効です。

自殺者の増加など国民の困窮が深まる中、国会で首相や厚相の答弁では「生活保護制度がある」「扶養照会は義務ではない」など生保の活用をすすめています。思い切った運用改善をお願いします。



要請事項

1. 無料低額診療事業のリーフやポスター掲示など周知へご協力をお願いします
2. 生活保護制度を機動的柔軟に活用できるよう運用改善をお願いします

○参加者(敬称略)(順不同)

- ① 大城郁男(医療生協副理事長 県社保協副会長)
- ② 照屋つぎ子(生健会、医療生協豊見城支部)
- ③ 山内友子(とよみ生協地域連携室)
- ④ 名嘉解子(とよみ生協介護保険課)
- ⑤ 平良雄一郎(とよみ生協事務次長)
- ⑥ 比嘉勉(とよみ生協事務長)
- ⑦ 照屋智恵(医療生協本部)
- ⑧ 高崎大史(県社保協事務局長)

☆豊見城市から

- ① 山川仁市長
- ② 金城福祉課長



多くの点で前向き回答をいただきました

○「生活保護は国民の権利である」ホームページで厚労省のように生活保護制度を紹介してほしい
⇒改定に向けて指示を出す

○「生活保護決定機関の短縮」⇒14日以内の決定が20%⇒50%に向上。さらに努力します

○「無料低額診療のポスター掲示を」⇒行います

○「無料低額診療の説明会開催を」⇒市内の全区長(48名)が集まる「区長会」でぜひ説明してください

○「困窮相談企画に市長の応援メッセージを」⇒了解しました

☆今後の予定 ○那覇市(3月12日)○浦添市(3月17日)○うるま市(3月18日)